

## 我々が成し遂げたいこと

### 大義・大志

50年100年先の未来の世代が平和と幸せを量産していくため日本の産業界は世界のビジネスを牽引し、模範となるべき、と強く考えています

なぜならば、これまで日本は新興国の発展に寄与し、人に対し惜しみない教育と労働機会を提供してきたからです。しかし、今の日本はかつてあった世界のものづくりで発揮していたリーダーシップや注目度は低下してきています。Japan Industrial Management Summit (JIMS)では、日本の経営者・経営幹部が「我々は未来の子孫、後進に何を残し、何を変え、何をつくっていくのか？」という腹を割った真剣な議論を行い、自身の使命を見出し、心に決め、仲間をつくることを目的としています。

### 我々の信条

日本能率協会は、長年にわたる製造業の経営革新の支援を通じ、日本のものづくりが世界のイノベーションを生み出すと確信しています

不確実かつ多様化、複雑化している経営環境下では、個社による課題解決がますます困難になってきています。

JMAは多くの経営者が一堂に会し、考え、議論し、仲間をつくる場が必要と考え、JIMSという「キャンパス」に、皆さまと共に「未来を描いて」いきます。

## ご参加について

- 対象：製造業および関連業種のエグゼクティブ(本部長以上)の方々、次代の役員・幹部候補
- 定員：200名(各日)
- ご参加について：本イベントは事前登録制となっております。

	早期お申し込み	通常お申し込み
1日券	165,000円	247,500円
2日券	220,000円	330,000円
お申し込み期限	2024年1月31日(水)	2024年3月6日(水)

(税込み)

## お申し込み

お申し込みはJMAマネジメントスクールホームページより承ります。

JMAマネジメントスクール <https://school.jma.or.jp/>

セミナーID(半角英数字)で検索

JMA100492



#### 〈キャンセルについて〉

参加者のご都合が悪い場合は、**代理の方がご出席**ください。代理の方も原則として本部長以上の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の通り、所定の手続きをお願いいたします。

#### ●手続き

必ずメール(JIMS事務局:hyogi@jma.or.jp)でご連絡ください。折り返し所定の手続きについてご連絡いたします。お送りした参加証・請求書は破棄をお願いします。キャンセル料が発生する場合は別途、請求書をお送りいたしますので、お振込期限までにお支払いください。すでにお振り込み済みの場合は、差額をご返金いたします。返金口座をご連絡ください。キャンセル料はお振込みの有無にかかわらず右記のとおりです。

#### ●キャンセル料

##### キャンセルご連絡日

開催30日前～開催15日前(開催当日を含まず)  
開催14日前～前々日(開催当日を含まず)  
開催前日および当日

##### キャンセル料

参加料の30%  
参加料の50%  
参加料の全額

無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。

※ご確認のうえ手続きをお取りいただきますようお願い申し上げます。

## お問い合わせ

一般社団法人 日本能率協会 産業振興センター JIMS事務局

TEL : 03-3434-1410 E-mail : hyogi@jma.or.jp 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

<https://jma-garage.com/jims>

日本ものづくり経営サミット

# Japan Industrial Management Summit

— 日本のものづくりが世界をリードするために —

2024年  
3月7日(木)・8日(金)

両日とも 10:00～17:00

(懇親会 17:00～19:30)

東京ミッドタウン ホール&カンファレンス



満足度 98%

昨年度、約80社の経営幹部  
約170名がご参加！  
「もっと深く、日本のものづくりの  
未来を真剣に議論したい」  
というご期待を多数いただき  
規模を拡大！

**JMA** 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会



# 令和のものづくり開国と維新

JMAは、社会と人々の平和と幸せを牽引するリーダーは日本であると信じています  
JMAは、ものづくりの強みを発揮するために日本の原点と本質を知ることが重要だと信じています  
JMAは、日本人の利他の精神、誠意、真心、和の尊重が世界を変えると信じています

JMAは、我々の後進と子孫、国内外の仲間が共進化する未来に意志をつなぎます

## 醍醐味・他社にはない差別化ポイント

### エグゼクティブの仲間づくりと問題発見の場

異業種、同業種の役員・幹部が一堂に会し、会場参加型の会合

#### 今まで・旧スタイル（課題解決）

##### 答えを聞く事例聴講

市場追従型（事例、答え、お客様）、一方向、発表者主体

#### 最近のエグゼクティブ層の傾向

「あまり解決事例には興味がなくなってきた」  
「個社ではどうにもならない課題と一緒に解決してくれる仲間が欲しい」  
「改善も大事だが、グローバルにどのようにビジネス・事業をするかといった外向き活動が大事」

#### 本会・新スタイル（課題設定）

##### 正解がないことに対してどのように対処するか？

市場先行型（議論、課題発見、当事者）、双方向、参加者主体

#### 議論ベースの問い

- 10年、20年先日本の社会や産業は、どうなっていないといけないか？
- 203X年、自社は、どうなっていないといけないか？
- 開発技術/生産/購買調達などの各部門の責任者の立場として、いまから自社で取り組むべきことは何か？「残すこと」「変えること」「創っていくこと」は何か？

※都合によりプログラム内容を変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
最新の情報はホームページをご確認ください。

## プログラム

〈敬称略〉

3月7日(木)

10:00～12:00	<div>オープニングセッション・パネルディスカッション</div> <div>問題提起と共有</div> <div><div><div>生産部門評議員会 議長 マツダ株式会社 代表取締役会長 菖蒲田 清孝</div></div><div><div>生産部門評議員会 副議長 株式会社東海理化 代表取締役社長 社長執行役員 二之タ 裕美</div></div><div><div>開発・技術部門評議員会 議長 パナソニックホールディングス株式会社 取締役 副社長執行役員 宮部 義幸</div></div></div> <div><div><div>購買・調達部門評議員会 副議長 大日本印刷株式会社 常務取締役 購買本部担当 三宅 徹</div></div><div><div>ファシリテーター 株式会社 MM総研 代表取締役所長 関口 和一</div></div></div>
ランチョンバンケット(90分・立食)	
13:30～14:30	Coming Soon
小休憩(20分)	
14:50～16:45	<div>【聴講者参加型】ディスカッション&amp;ネットワーキング</div> <div>※会場内の聴講者同士のグルーピングを行い、意見や価値観のシェア、テーマに沿った議論を行っていただきます。 深い交流や多様な気付きの促進を図っていきます。</div> <div><div>●グループシェア(グループ討議)    テーマ：「感想シェア」、「企業間の協調と競争の境目と障壁」</div><div>●全体シェア(グループ代表4～5名から)</div></div>
16:45～17:00	<div>産官の連携のヒント    日本のものづくりが世界をリードするためには？ 強みと協調のキーノート</div> <div><div>ファシリテーター</div><div>株式会社 MM総研    代表取締役所長    関口 和一</div></div>
ディナーバンケット(120分・立食)	

3月8日(金)

10:00～11:00

オープニングセッション・パネルディスカッション

問題提起と共有

## 「これからのものづくり人材(仮)」


 <div>生産部門評議員会 議長 マツダ株式会社 代表取締役会長 菖蒲田 清孝</div>	 <div>生産部門評議員会 副議長 株式会社東海理化 代表取締役社長    社長執行役員 二之タ 裕美</div>
 <div>購買・調達部門評議員会 議長 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 取締役 執行役員 調達 管掌 兼 調達本部長 古川 雅晴</div>	 <div>ファシリテーター 株式会社 MM総研 代表取締役所長 関口 和一</div>

11:00～12:00

人・組織作り

日本流の人づくりと経営の原点

## 「シン日本流経営～創発型イノベーションの実践に向けて」

 <div>京都先端科学大学大学院 教授 名和 高司</div>	<div>趣旨</div> <div>1)伝統から革新が生まれる。伝統的日本流経営の踏襲(風土病)でもなく、欧米型経営の模倣(舶来病)でもなく、その融合の中から、シン日本流経営を編み出していく。 2)イノベーションは「異結合」から生まれる。日本は古来より、異質な文化や手法を異結合させてイノベーションを生み出すことを得意としてきた。 3)これからは、1)より異質なものを取り込む力、2)「たくみ」を「しくみ」にしていく力、3)世界に共感の輪を広げる力に、いっそう磨きをかける必要がある。</div>
---	---

ランチョンバンケット(80分・立食)

13:20～15:05

人・組織作り







『生産現場のマネジメント事例 ～現場リーダーは現場経営者～』

「第一線監督者の集い最優秀事例発表賞」現場リーダーより  
＜現場マネジメント＞ 第一線監督者の集い 優秀事例(名古屋／福岡／仙台／タイ)

小休憩(10分)

15:15～16:45

特別講演

 <div>株式会社日立製作所 取締役会長兼代表執行役 東原 敏昭</div>	「日本のものづくりが世界をリードするために(仮)」
●会場代表質問	
 <div>生産部門評議員会 議長 マツダ株式会社 代表取締役会長 菖蒲田 清孝</div>	 <div>生産部門評議員会 副議長 株式会社東海理化 代表取締役社長    社長執行役員 二之タ 裕美</div>
 <div>購買・調達部門評議員会 議長 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 取締役 執行役員 調達 管掌 兼 調達本部長 古川 雅晴</div>	<div><div>購買・調達部門評議員会 副議長 大日本印刷株式会社 常務取締役 購買本部担当 三宅 徹</div></div> <div><div>ファシリテーター 株式会社 MM総研 代表取締役所長 関口 和一</div></div>

16:45～17:00

産業界のコンパス

日本のものづくりが世界をリードするためには？ 強みと協調のキーノート

ファシリテーター

株式会社 MM総研    代表取締役所長    関口 和一

ディナーバンケット(120分・立食)